

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月4日

【評価実施概要】

事業所番号	0270301641		
法人名	株式会社東建設計		
事業所名	グループホーム音寿園		
所在地 (電話番号)	〒031-0071 青森県八戸市沼館一丁目10-13 (電話) 0178-73-2515		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年9月15日	評価確定日	平成21年11月4日

【情報提供票より】(平成 21年 8月 27日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 2月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	23 人	常勤 4人, 非常勤 19人, 常勤換算	11.3人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2階建ての 階 ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,010 ~ 27,000 円	その他の経費(月額)	12,000 ~ 16,020 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(8月 27日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名
要介護3	5 名	要介護4	2 名
要介護5	5 名	要支援2	名
年齢 平均	85 歳	最低	70 歳
		最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	八戸城北病院、湊病院
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>工場地帯と大型商店が近くにある住宅街の一角にホームがあり、買い物や散歩等利用者の活動にも適している。理念として「生き生きと穏やかに」を掲げ、一人ひとりの要望を大切に個人ケアの重視に努めている。その一つとして、音楽療法・体操レクを取り入れ、声を出したり歌うことにより嚥下効果や精神の安定を図り、職員と共に日々楽しく過ごされている。又、地域との交流が盛んに行われ、地域への貢献もなされている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>緊急時、家族が駆けつけるまでの処置について家族と話し合い、確認し同意を得ている。火災訓練時に消火器の使い方を実施している。正面玄関廊下の物品はきちんと整理されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員が評価の意義を理解し、話し合いをしてまとめている。改善点はケース会議で話し合い、評価を活かせるよう取り組んでいる。家族へも報告している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回実施され、利用者のサービスや評価の取り組み等について話し合い、アドバイスをいただき職員に周知を図り、サービス向上に活かしている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>毎月、ケアプラン・金銭管理表を送付し報告している。利用者の暮らし方や健康状態は3ヶ月に1回の便りと、面会時に報告している。玄関に意見箱が設置されており、意見や苦情相談の受け入れ体制が取られ、面会時や電話報告時に問いかけをし、何でも言ってもらえる雰囲気づくりをしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の人達と気軽に声をかけ合い、町内会の行事へ参加し、ホームの行事へも町内会の方々が来て交流を持っている。又、老人クラブの定例会に認知症サポーター講座を開催し、キャラバン・メイトとしても参加している。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で、「生き生きと穏やかに」を理念として掲げ、その人らしく生活できるように心がけ努力されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を見やすいホールに掲示し、ケース会議等で周知しながら話し合いを共有し、日々取り組みをしている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の人達と気軽に声をかけ合い、老人クラブ定例会に参加し、流しソーメン大会・三社大祭のお囃子等に町内の方々が来てくださり、利用者との交流を持っている。又、老人クラブ定例会時に認知症サポーター講座を開催し、キャラバン・メイトとしても参加している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>全職員が評価の意義を理解し、話し合いをしてまとめている。改善点はケース会議で話し合い、評価を活かせるように取り組んでいる。家族へも報告している。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1回実施され、サービスや評価の取り組み等について話し合い、アドバイスをいただき職員に周知を図り、サービス向上に活かしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者は運営推進会議に参加されているが、その他に事業所の現状を報告したり、解らない点を相談し、市との連携を密接に図りサービス向上を目指している。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者が研修に参加され、ケース会議で職員に周知されており、利用者・地域住民へ支援できる体制となっている。又、パンフレットも準備されている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者・職員は講習を受講し、ケース会議で報告し研修をして、日々の生活の中で虐待のない安らぎのある生活が出来るよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前に利用者・家族に契約書及び重要事項説明書について説明している。契約時には希望・要望を尋ね、丁寧に十分説明し、理解と納得の上で契約を交わしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の請求書送付時にケアプラン・金銭管理表を送付し報告している。利用者の暮らしぶりや健康状態は3ヶ月に1回の便りと面会時に報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱が設置されており、意見や苦情相談をいつでも受入れ相談できる体制が取られている。又、面会時や電話報告時に問いかけをし、何でも言ってもらえる雰囲気作りをしている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者及び職員はA・B棟を常に行き来しており、職員の異動の際には利用者にダメージを与えないように、最小限に抑える努力をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>採用時研修が行われ、研修計画も作成されており、事業所内外の研修に参加し報告されている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>八戸グループホーム協会に加入し、講習会や懇親会に参加され勉強したり情報交換等を行い、サービスの向上に活かしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人・家族と相談して、馴染みの物を持参してもらい、自宅での環境がある程度継続出来るよう家具等の配置もお願いして、安心して生活出来るように工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者に尊厳を持って接し、毎食時・コーヒータイム・外食等を共にし、コミュニケーションを深め共感できる場面を多く持てるようにして、支え合う関係づくりに努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中でコミュニケーションを通して、言葉や表情、行動から真意を推し測り、確認し生活を支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者が自分らしく暮らせるよう、本人や家族の意向が盛り込まれており、日々の生活を重視した介護計画書を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書を毎月モニタリングするとともに、プラン変更があった場合は、申し送りノートに記入し、スタッフ全員が共有し、家族にも随時連絡、同意を頂いている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族が状況や意向、時々々の状況や要望を聞き入れて柔軟な支援が提供されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族が希望しているかかりつけ医となっている。受診は基本的に家族が行っているが、不可能な時は、職員が代行している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>家族にはかかりつけ医と相談し出来る限り支援させて頂くという方針を伝えているし、職員間でも方針は共有している。</p>		<p>重度化した場合や終末期のあり方について、出来るだけ早い段階で本人及び家族ならびにかかりつけ医と話し合うことを期待したい。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>会議時、利用者の尊厳、個人情報の保護について認識するように努めている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日課に縛られることなく、利用者個々の体調や希望を尊重した個別支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の状況に応じ、盛り付け、茶碗拭き等職員と一緒にしている。また、職員と利用者が一緒に食事をし、穏やかな雰囲気の中でさりげないサポートがなされている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>毎日午後を入浴タイムとして、利用者の希望回数に応じるようにしている。また、湿疹発症した利用者には、毎日シャワー浴が出来るようにしている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>お花の会や手芸の会を設けて、利用者が意欲的に活動できるようにしている。また、音楽療法を取り入れ、楽しみや気晴らしの支援を行っている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>2ヶ月に一度のバス旅行や近くの大型ショッピングセンターに出かけ、楽しみや気晴らしが出来るようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>利用者によっては、身体の傾きが見られる為、家族の了解を得て補正クッションをする以外、身体拘束を行っていない。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関は、プッシュ式自動ドアであるが、特に利用者が外へ出ようとすることはない。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回火災訓練を行っており、地域の町内会の方々に災害協力が得られる体制となっている。</p>		<p>火災訓練だけではなく、地震・水害等を想定した訓練を取り入れることに期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量や水分補給量を個々に記録され、利用者一人ひとりの摂取状況が把握されている。</p>		<p>職員が栄養バランスの摂れた献立に心掛けているが、偏りやすい傾向になりがちである。事前・事後でもいいが、栄養士に献立のアドバイスを頂ける体制を確立できることに期待したい。</p>
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症マニュアルが作成されているとともに、消毒方法も徹底されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって使いやすいソファやコタツ、ベランダにイスを置き、くつろぎやすい空間を作っている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使い慣れた馴染みの家具等が持ち込まれており、その人らしい生活が感じられる配慮がなされている。</p>		

 は、重点項目。